

1. 令和4年度 宮城県農業行政の概要

共創力強化 ～多様な人材が豊かな未来をつくる みやぎの食と農～

○現状と課題

東日本大震災からの創造的な復興の取組により、100haを超える大規模土地利用型農業法人や、高度な環境制御技術を導入した先進的施設園芸に取り組む法人が増加し、農業生産額については、震災前を上回る水準まで回復しています。

一方、人口減少や高齢化に伴い、国内の食の市場規模が縮小するとともに、農家数の減少も加速しており、これまで取り組んできた国内外での市場開拓や、生産現場での担い手の確保、労働生産性の向上に加え、環境と調和した持続可能な食料システムの構築や、若者や女性にとって魅力的な農業・農村づくりが重要な課題となっています。また、集落機能の低下や深刻化する野生鳥獣被害、大規模化・頻発化する自然災害や豚熱等特定家畜伝染病への対応のほか、令和3年産の米価下落など地域経済に大きな影響を及ぼしている新型コロナウイルス感染症への継続した対応が必要となっています。

○令和4年度の基本的方向性

「園芸産出額倍増」、「食のバリューチェーンの構築による県産農畜産物の付加価値向上」、「関係人口等や多様な地域資源を活用した農村の活性化」、「アグリテックの導入」、「野生鳥獣被害防止対策へのICTの活用などデジタル化の推進」、「田んぼダム等の導入等による自然災害への対応」、「長期化している新型コロナウイルス感染症への対応」等について積極的に取り組みます。特に需要に応じたみやぎ米の生産・販売や、収益性の高い園芸作物等への作物転換をより一層進めるとともに、県産畜産物の生産拡大と生産性向上を進めます。また、持続可能な食料システムの構築に向けたデジタル技術の活用や有機農業の推進、女性農業者等の能力が十分に発揮できる就労環境の整備などを進めます。

これらの取組を農業者だけでなく、消費者も含め食と農に関わる人材が結びつき、活躍することにより、豊かな食と農の未来を築けるよう展開します。

○重点施策

I 時代のニーズに対応した県産食品の安定供給（豊かな食）

- 県民による豊かなみやぎの食と農への理解と地産地消の促進
- 生活様式の変化に対応する県産食品の販売力強化
- 県民への安全・安心な食料の安定供給

II 次代の人材育成と革新技术の活用による戦略的な農業の展開（儲ける農業）

- みやぎの農業を支える多様な人材の確保・育成
- 先進技術等を活用した農業生産の効率化と高度化
- 基盤整備と集積・集約化による農地利用の高度化
- 先進的大規模拠点を核とした園芸産地の確立
- 水田フル活用による需要に応じた作物生産の振興
- 生産基盤の拡大による畜産の競争力強化

III ひと・もの・ちえを総動員した持続可能な農村の構築（活力ある農村）

- 関係人口と共に創る活力ある農村
- 地域資源を活用した多様ななりわいの創出
- 環境と調和した持続可能な農業・農村づくり
- 農業・農村の強靱化による地域防災力の強化